



若くて素敵なバスガイドさんが
バス車内を盛り上げてくれるという
男子の夢を具現化した派遣型アテンダント
それがテレビでも話題の「美バス」
修学旅行のあの甘酸っぱい思い出が甦る!?



美しい人

元・モデル&CAが乗車する、ツアーアテンダントという新しいお仕事

バスに乗る

文：清水草一

撮影：田村 弥 Special thanks WELCOM株式会社



一人前になるまでの修行期間に 耐えきれないイマドキの若者たち バスガイドも人材難に直面している

いまバス業界最大の話題は、「美バス」らしい。業界関係者は誰も、「美バス」の話となると、目を輝かせ、身を乗り出してくるらしい!!

個人的には、バスガイドさんに特別な思いを抱いたことはない。小・中・高校の遠足や修学旅行で乗るバスには、いつもバスガイドさんがいたが、紋切り型の説明はいかにも丸暗記っぽくてちよつとうっとおしく、反面、「聞いてあげなきゃ」というプレッシャーも感じて、子供心に負担だった。

そう言えば幼稚園くらいまでは、女の子たちの将来の夢には「バスガイド」というのもあったが、70年代には完全にスチュワーデスに取って替わられ、消えていた。大人になってからは、バスガイド付きの観光バスに乗る機会もなくなり、その存在すら忘れかけていた。

いつのまにかバスガイドの世界は、かなりの人材難に直面しているという。都内の観光バス会社で、自社養成のバスガイドがいるのは、ほとんどのバス、ヤサカ観光など数社しかないとか!

バスガイドになるためには、寮住まいで半年から1年もの厳しい研修を受け、その間に山のようなガイドを丸暗記せねばならず、非常に過酷なのだそう。一人前になるには3年はかかるという。よって、途中で挫折する人も多く、なり手がいなくなりつつある。そんなこと、まるで知りませんでした。スイマセン。

そんなご時世だから、「美バス」なのだ。美バスは、元CAやモデル、タレントが、派遣バスガイドとして添乗してくれる



普段は1名で添乗するが今回は特別に美バス・ツアーアテンダント2名体制で乗務する

サービス(正確にはバスガイドではなく「ツアーアテンダント」と呼ばれる)。それを聞いただけで、男の98%が「えっ?!」となる。わくわくする。いったいなぜ?

CAやモデルは、フツウの男には手の届かない雲上界にいる。それが、雲の上から地上のバスに降りてきて、我々と身近に接してくれる。そして、バスガイドという地道な仕事をしてくれるのだ。そこには、下世話な言い方をすれば、元レースクイーン専門の高級キャバクラの感じがしないでもない。
キャバクラに行くのは微妙な後ろめた

さがあるが(個人的な感覚です)、元CAやモデルさんがバスガイドをしてくれるのには、一切の後ろめたさがナイ! すばらしいことじゃないか!!

だからこそ、「美バス」と聞くと、業界関係者はみんな目を輝かせ、身を乗り出してくるのだろう。

というわけで、我々も「美バス」体験をさせていただくことになりました。

美バスの効果アリなのは なんと修学旅行だった!

バスガイドの需要は、修学旅行が多いという。恐らく学校側としては、ただバスに乗せておくだけじゃイヤカン、沿道のことも勉強させなアカンという気持ちも働いている。あの丸暗記的なガイドは、一種の授業だったのか。そうか、押しつけがましくてつまんなかった理由が今ごろわかった。そう感じるのは今も昔も同じで、生徒たちはバスガイドに、先生に対するのと同種の反発を感じる。青春の反逆である。バスガイドの話なんぞそっちのけで、おしゃべりに熱中したりもする。

ある修学旅行で、ベテランのバスガイドが、言うことを聞かない生徒たちを強い口調で注意したところ、それが学校側からのクレームになった。そこで、旅行代理店の要請で、次の年から美バスの若いアテンダントを試験的に投入した。すると生徒は素直に行くことを聞くのはもちろん、大人気だったという!

その気持ちは痛いほどわかる。ベテランの女教師にギリギリ締め上げられるよ

美しい人 バスに乗る

Tour Attendant 美バス・オフィシャルサイト www.bibus.jp/





ツアー集合場所で目に入ったのは『少女時代』のような完全モデル体型の2人だった

り、シロート美人が来てくれた方が嬉しいに決まってる。「これは授業じゃないな」ってのは、本能でわかるから！

この「美バス」というサービスを始めたのは、ウエルコムという会社で、2008年から元モデルやCAに研修を受けさせた後、秘書や受付として企業に派遣する「美職」を開始。その後、2010年から、バスガイド的なツアーアテンダント「美バス」へと進出したというわけ。

元モデルやCAは、もともと人前に立つ仕事をしてきているから、簡単な研修でツアーアテンダントをこなせる。観光ガイドの業務については、かえってプロっぽくない方がいいという面もある。

また、モデルなどは一見華やかな仕事に見えるが、仕事には波がある。空いた日を人前に立つ仕事で埋められれば、両者にとって好都合と言っわけだ。

現在、登録者は約300名。活動可能なスタッフは60名。年齢は25歳から29歳が中心で、活動範囲は主に関東圏。主なクライアントは、地方から東京に来る修学旅行、社内旅行などだそう。

というわけで、美バスの需要は修学旅行が中心なのだが、修学旅行の同乗取材はムリ。そこで今回は、とある会社の社内旅行で、美バスを体験させていただくことになりました。

本日のアテンダントは現役女優と女子大生

出発前、集合場所でバスを待っている。制服を着たそれらしき美人2名を発



新人の広野さんはこの日が初乗務。都内からアクアラインを通り外房方面へのツアー

見した。フツのバスガイドさんにはちよつとあり得ない、完全モデル体型の2名様だ。それだけでもう、胸がときめく。いったいナゼ!? と思うが、キャバクラの数倍興奮する。不思議である。

バスが発発し、いよいよガイドが始まった。まず「まき」の名札をつけた村上真希さんから。

「本日はよろしくお願します」的な型通りの挨拶のあと、いきなり自己紹介が始まった。もう、「自己紹介をさせていただきます」と聞いた瞬間、こちらの脈拍数は上がった。別に観光ガイドなんぞ聞き

たくない。聞きたいのはあなたのことだったんだよ！

「私は、19歳からモデルを始めまして」「ヒュッッ！」

客席からは即座に歓声が上がった。修学旅行ではたぶん、生徒たちは息を飲んで聞かろう。「モデルさんがバスガイド!?」なのである。体型からして「少女時代」みたいだし。そんなことありえるのか！ と思うはずだ。東京はやっぱりすごいところだ！ と思うに違いない。

まきちゃんの自己紹介は続く。「20代前半は、雑誌モデルや企業のモデルをやらせていただきましたが、モデルという仕事はなかなか厳しい世界でして、こちらはあきらめまして……」

そうか、やっぱり厳しいのか。いいんだよいいんだよ、こうやってバスガイドやってくれた方が俺たちはシアワセだよ！ という温かい思いが客席を包んだ。

「それで、24からお芝居を始めて、今は女優をやらせてもらってます」

うひゃ、女優さんだったのか！ マジですか！ その後、出演映画などの説明もあり、自己紹介は異様に盛り上がった。「何かご質問ありましたら遠慮なくどうぞ」すかさず「彼はいますかー！」という質問が飛んだのは言うまでもあるまい。

続いて、もうひとりの「けいこ」こと広野恵子さんの自己紹介だ。彼女はなんと現役の大学生！ 昔風に言えば女子大生である。いいじゃないか女子大生！ オールナイトフジ欠かさず見てたよ！

「モデルの経験はないんですが、高校生の頃、いくつかナレーションの仕事をして

美しい人 バスに乗る

Tour Attendant 美バス・オフィシャルサイト www.bibus.jp/



バスの最前列が今日の彼女のステージ。村上さんは現役の女優とゆうことで、人前で話すことに慣れていているとはいえ、その場の空気を読んで盛り上げるのは並大抵のことではない



- 1 美バスの研修では、バスガイドOGの講師がバスの安全運行に関することやマナーなどを独自のテキストを使って教える
- 2 案内旗の扱いなど、バスガイドOGならではの細かい実技指導。研修生たちも真剣な表情で見る
- 3 実車の大型バスを使って安全確認や誘導などの実技を学ぶ。美バスでも安全が最も重視されることは言うまでもない
- 4 元CAやモデル出身者ということで、人前で話すことに慣れていている人が多く、バスガイドとしての素養は高いという



ました」と言っただけあって、喋りは微妙にプロっぽい。というわけで、彼女たちの自己紹介だけで、旅の目的は達した。それは、バスの中に自分たちだけの芸能人が出現した感覚だった。

その後、途中で観光ガイドもしてくれただが、美バスの場合、ガイドはアンチヨコを読む形で行われる。全然それでいい。暗記なんかされると痛々しくてイカン。美人が一生懸命にアンチヨコを読む。内容はプロのガイドと同じ。それで十分すぎるどころか、その方が嬉しい。

後半は、彼女たちは後方のサロンシートに移動し、ゲームなどでお客さんたちと触れ合った。スバラシイ。延々、暗記したガイドを続けられるより、はるかに旅が楽しくなるじゃないか！

余計なことはしてくれなくていい。君たちはただそこにいてくれさえすれば。

美しい人 バスに乗る

Tour Attendant

人は美人がそこにいるだけで、限りなく満足するのだった。

**求められているのはガイドより
エンターテイメント**

到着した目的地で、ふたりにインタビューしてみた。

「まきさんは、ツアーアテンダントの仕事は何回目？」

まき「まだ1年足らずなので、10回目くらいです。今まではすべて子供さんがお客様だったので、大人のお客様は今日が初めてで、緊張しました」

「子供なら、彼氏いますかー！ とか聞かないですよ。」

まき「そうですね(笑)。ああいう時、なんて答えたらいいの……。もっと空気読まなきゃ、と思いました。私たちが求



美人のとびきりの笑顔で見送られれば、旅の思い出も特別なものになるというもの

美バス
ツアーアテンダント
村上真希さん



められているのは、ガイドではなくエンターテイメントなんだと思います」
 — けいこさんは、喋りがプロでしたね。
 けいこ「いえいえ、何を隠そう、今日が初めてだったのですごく緊張してしまっ」
 — 今日が初めてですか！
 けいこ「はい。確かに多少ナレーションの仕事はしてましたけど、かえって地声の方がいいかもしれない、と思いました」
 — なるほど。まささん、今まで印象的だった添乗は？
 まき「東京デイズニールンドに向かう高校生の修学旅行の添乗の時、最初はみんな疲れている感じがしたんですが、私がしゃべっている間に元気になってくれて（笑）、デイズニールンドでは、みんなをハイタッチで送り出したのは嬉しかったです」
 — そりゃ、まささんを見てテンション上がったんでしょうね。

『腕組んで写真撮ってください！』
 女子生徒の憧れ視線でのリクエスト
 「この仕事やってよかった」と感じる瞬間

まき「どちらかというと女の子の方が、「腕組んで写真撮ってください！」とか、フレンドリーに接してくれますね。憧れてくれている感じで、やってよかったなあ、と思います。本業は人前に立つ仕事ですけど、接客業はやったことがないし、人の心をつかむという点で、自分にとってプラスになる。それで人が喜んでくれるなら、と思ってます」
 けいこ「東京は冷たい人ばかりじゃない、と思えてもらえたらうれしいですね」
 美人が優しく接してくれば、それに勝るものはあるまい。
 ここで、ふと思った。近いうち、「美バス」に続いて、「モデルや役者志望者による「イケメンバス」」の需要も高まるのではないかな？ それも、温泉の男湯より女湯の方がゴージャスなのがアタリマエ、な時代の要請なのではないか！と。

美バス
 ツアーアテンダント
 杉村真紀さん



ツアー客が降車した後は、忘れ物点検やゴミ集めなどの業務をこなすのはバスガイドと同じ